

京都からCOP15へ市民の声を

地球温暖化防止

第40回京都消費者大会

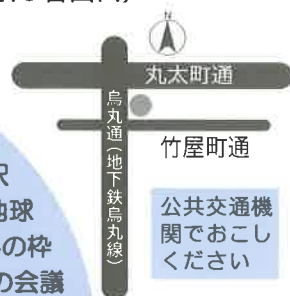


2009年9月12日(土)

午後2時～5時30分

ハートピア京都
3F大会議室

京都市中京区竹屋町通烏丸東入る
(地下鉄烏丸線「まるたまち」駅5番出口)
☎075-222-1777



今年12月、COP15
がコペンハーゲンで開催さ
れます。COP15は、COP3で採択
された「京都議定書」につづく、地球
温暖化防止のための国際的な取り組みの枠
組みを決める重要な場となります。この会議
にむけて、「京都議定書」採択の地・京都か
ら、とりわけ市民の立場から、地球温暖化防
止にむけて世論をたかめていくことが大切で
す。第40回京都消費者大会は、このような
ことから企画されている「京都から
COP15へ市民の声を」キャンペーン
のキックオフイベントとして開
催します。

14:00～開会

【あいさつ】

温暖化防止COP15ネットワーク関西世話人
早川光俊
(弁護士、地球環境と大気汚染を考える全国市民会議専務理事)

【講演】「低炭素社会をデザインする」

講師 内藤正明 (京都大学名誉教授、京のアジェンダ21フォーラム代表)

【報告】学校・地域・NPOが一体となったエコ活動

——地域材を活かした新ストーブでCO₂を削減

京都市立雲ヶ畑中学校

【リレー発言】

- ① コンシューマーズ京都「食」プロジェクト
- ② 京都大学生生活協同組合
- ③ 京都府庁生活協同組合
- ④ 新日本婦人の会京都府本部

【COP15代表あいさつ】

15:50～ 映画「北極のナヌー」上映

- 共催：温暖化防止COP15ネットワーク関西
- 後援：京都府・京都市
- 協賛：大阪ガス(株)

※この企画は「平成21年度京エコロジーセンター環境保全活動助成事業」として行われます。

●主催：コンシューマーズ京都／京都生活協同組合／京都府庁生活協同組合
大学生協京滋・奈良地域センター／京都府生活協同組合連合会

【お問合せ】コンシューマーズ京都 〒604-0847 京都市中京区烏丸通二条下る ヒロセビル5F
Tel.251-1001 Fax.251-1003 E-mail syodanren@mc2.seikyounet.jp

午後1時30分開場
先着150名に
プレゼント!!

参加自由
無料

マイナス50°Cの北極で10年間に渡って撮影!!
「皇帝ペンギン」US版のスタッフが贈る
奇跡のドキュメンタリー



30年後、北極がなくなる。
それでも白くまナヌーは生きる。

© 2007 COTN Productions, Inc.

ユーラシア大陸と北アメリカ大陸をつなぐ、海に浮かぶ氷の世界、北極。165万年前の氷に覆われた厳しい自然が今、地球温暖化の影響を受け、急激に変わりつつあります。北極海の海氷面積は、10年間で約10%ずつ減り続け、過去30年で168万km²（日本国土の4倍半）もの海氷が消滅してしまったとも言われています。「北極のナヌー」は、そんな環境変化の中で生まれた白くまナヌーが、いまだかつてない暖かい北極で生き抜く姿を描いたドキュメンタリードラマです。

■ストーリー

氷が溶け始めた北極に生を受けた一匹の白くま。イヌイットの言葉で“氷海の王者・白くま”のことを「ナヌーク」と呼ぶのをうけて、「ナヌー」と名付けられました。氷が溶けて狩り場を失い、母ぐまとナヌーは餌を求めて移動します。やがて訪れる別れ…。まだ生きる術を身につけていない小さな白くまにとって、北極の地は過酷です。ナヌーはやがて海へ飛び出しました。まだ見ぬ未知の大陸をめざして――。

構想から10年という年月をかけて完成させた本作は、自然科学の分野におけるビジュアル表現で世界的権威であるナショナル・ジオグラフィックが初めて手がけた長編劇場映画。映画「不都合な真実」で地球温暖化の危機に警鐘を鳴らしたアル・ゴア元アメリカ副大統領の娘がナレーション脚本に参加しているのも話題を呼んだ。絶滅危惧種でもある白くま（現在、約10,000頭が生存）の姿を追いかけて、48,000分のフィルムに収めた映像は、命の尊さと、地球という星の環境を守る意味を私たちに問いかけてきます。

原題：ARCTIC TALE / 2007年 / アメリカ / 84分 / 配給：松竹
監督・撮影：アダム・ラヴェッチ / サラ・ロバートソン
制作：ナショナル・ジオグラフィック・フィルムズ
プロデューサー：アダム・リーフツィグ / キーナン・スマート
日本語版ナレーション：稲垣吾郎